雪割

山形県立寒河江工業
高等学校雪わり会
寒河江市緑町148番地
TEL(0237)(86)－4278
FAX(0237)(86)－2913
印刷所　寒河江印刷株式会社

念願の改築整備事業が始動

会長
那須　稔

会員の皆様には、日頃から母校同窓会に、ご協力とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

本校は、今年で創立五十八周年を迎えることになりました。この間、九千四百余名を越える卒業生がこの学び舎を巣立ち、経済、教育、文化とあらゆる分野で活躍されております。また地元産業は勿論のこと中央・国内外でも幅広く活躍され、産業の振興と発展に多大な貢献をされております。

大変に喜ばしいことに、これまで、母校の早期改築について、寒河江市、ＰＴＡ、と共に県当局に要望して来ました。その願いが実って、学校改築整備事業が決定し令和四年に着工、令和六年四月の共用開始に向けて動き出しました。皆様には、平成二十三年に行った母校の早期改築についての署名活動に積極的にご参加を頂くとともに、要望活動にご理解、ご協力を頂き大変に有難うございました。

いま経済は、新型コロナウイルス感染拡大よって、新しい社会生活による経済という大変な社会状況の中で、倒産や資金繰りの厳しい企業が増加するなど、感染者数が拡大し雇用・所得環境が急速に悪化しております。緊急事態宣言が解除された五月以降に持ち直しの気配もありましたが、しかしながら国内外の経済活動は抑制された状況にあります。この様な経済状況の中で、企業おいてはあらゆる手立てを講じ経営の好転に、大変な努力をされている現状があります。このような中でご活躍されております皆様方に心から敬意を表します。

皆様には、将来に向けて、ここ数年は、新型コロナに立ち向かった特別な年として、この困難な状況を乗り越えたという自信と希望を持って力強く前に進んで頂きたいと思います。

最後に、母校の教育目標の具現化に向けて取り組まれておられる教職員の皆様に感謝申し上げますとともに、会員皆様方からのご支援ご協力を願い申し上げ挨拶と致します。

学校長あいさつ

校長
髙橋　良治

～新時代を築く人材育成、そのための改築整備事業～

同窓会の皆様には、本校に対しまして、多大なるご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。今年で創立58年目を迎え、卒業生は実に9,489名を数え、永年にわたり、地域工業界の中核として活躍する人材を輩出して参りました。これまでも幾多の変革を経て、その時代の躍進を遂げてきましたが、その礎は、多くの卒業生の努力や成果、そして地域の企業や方々等の支援の積み重ねであることを忘れてはなりません。本誌発刊にあたり改めて感謝と敬意を表します。

さて、私たちの悲願であった新校舎改築事業については、改築事業者も決まり順調に進んでいるところです。事業者（グループ）の中には、本校ＯＢが活躍している企業も多く、時代の進展に呼応した夢のある学校づくりを同窓生と共につくりあげる心地がいたします。令和４年度に着工し、令和６年４月からの供用開始を大きな計画のポイントとするところです。現在は、基本設計の中で、新校舎の模型や図面を見ながら、レイアウト等の確認や調整を県や事業者と打合せながら行っております。本校の節目となる創立60周年記念式典は、この新校舎での開催となればと考えているところです。

今年は、新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、全国一斉の学校休校や部活動やものづくり関連の大会が軒並み中止となるなど、大変な1年となりました。コロナの影響を大きく受ける生活が続いていますが、感染予防徹底のため、時差登校、検温チェック、マスク着用、ソーシャルディスタンスなど、新しい生活様式を受け入れながらの対応に協力してくれた生徒達に感謝しています。また、このような状況においても、ものづくりの実践や部活動等に関連した各種代替大会、資格取得などにも積極的に挑戦し、数々の成果をあげ、本校や地域に元気をもたらしてくれた多くの生徒達を称賛します。本校は今、国が目指すソサエティー５.０の新時代を築く人材育成を加速すべく、校舎改築事業を伴いながら、教育内容も大きく変革しようとしています。世界を俯瞰しながら地域を愛し、地域に愛され、新時代を展望できる工業高校へと更なる発展を遂げたい。生徒たちは『輝く　エンジニア！』となるために、【「情熱」、「挑戦」、「変革」そして「極める」】をスローガンとし、社会に役立つ真剣なものづくりと希望進路実現につながる活動に精励しております。その様子は、プロモーションビデオとしてまとめ、本校のｗｅｂページで紹介しておりますので是非ご覧ください。そして、今後とも本校の活動にご注目いただき、変わらぬご支援とご協力を賜れば幸いです。

終わりに、同窓会の益々のご隆盛、会員の皆様方のご活躍とご健勝をご祈念申し上げご挨拶と致します。

ホテル サンチェリー
寒河江市本町一丁目２番23号 ☎(0237)83-5000㈹
ホームページ http://www.suncherry.com

源泉かけ流し100%
庭園 大露天風呂
寒河江温泉 こころの宿 一龍
寒河江市本町一丁目２番27号 ☎(0237)86-2233㈹
ホームページ http://www.ichiryo.com

機械科の取り組み

機械科では、地域産業に貢献できる技術者の育成を目指して、ものづくりや資格取得に取り組んでいます。

昨年度、本校を会場にして開催された「メカトロアイディアコンテスト」では課題研究班で製作した「夏休み破壊号」が準優勝し、新潟県で開催された全国大会に出場してきました。今年度も全国大会出場を目指して、五名の三年生が取り組みましたが、新型コロナウイルスにより大会は中止。目標は達成できませんでしたが、難しいテーマのロボットに挑戦したことで、生徒達は逞しく成長しました。

また、ＹＢＣでも放映された「やまがた高校生ロボットコンテスト」には、工業研究部Ｍ班が製作したロボットが出場しました。昨年度はＶ２達成!!今年度はＶ３?を逃してしまいましたが、二年生だけのチームで、自分達がイメージしたロボットを作り上げたことは大きな収穫でした。

ものづくりの楽しさを地域に発信する試みとして、毎年、機械科三年生全員が寒河江市内の小学校を訪問し、小学生と一緒に「ポンポン船」や「ペットボトルカー」を作ってきましたが、今年度は、五名の生徒が「幸生小学校」を訪問し、サンドブラスタを使った記念品を製作。ものづくりの楽しさを伝えながら交流を深めてきました。

資格取得にも意欲的に取り組みました。技能検定三級の旋盤・マシニングセンタ・機械保全・機械検査・テクニカルイラストレーションの五種目で、元年度の合格者は十五名。今年度前期は中止のため、後期で三十五名の生徒が挑戦しています。

これからも機械科の良き伝統を受け継ぎながら、生徒と職員が一体となって頑張っていきますので、今後とも、同窓会の皆様方のご支援とご協力よろしくお願いします。

電子機械科の取り組み

電子機械科は、平成十二年に学科改変によって設立され、今年度入学生が第二十一期生となります。マイコンカー製作を実習の柱として、電子技術、機械技術、制御技術の学習を通して、人間性豊かで創造性に富む技術者の育成を目指して取り組んでいます。

今年度の電子機械科の取り組みを振り返ってみます。コロナ禍でたくさんのイベントや検定試験が中止になる中、夏休みも過ぎたあたりから規模を縮小して実施されるものが出始めました。十月末にマイコンカーラリー山形県大会が実施され、学校対抗で三位、画像処理部門でも三位、ベーシッククラスで六位、七位に入賞することができました。

学習面では、例年行っている企業や本校ＯＢの方々の協力を得て、はんだ付け講習会や技能検定、電気工事士等の資格取得に向けた技術講習などを行い、技術力向上を図ることができました。そしてジュニアマイスターシルバーの取得者が三名、ブロンズ三名という素晴らしい成績を収めることができました。更には、山形県探究型学習発表会で、課題研究で二年間にわたり取組んだ視覚障がい者のための駒の位置を読み上げる将棋盤の製作を発表し高い評価を得ました。

進路に関しては、就職試験の開始が一か月遅くなったにも関わらず十二月初めには全員が決定しました。就職者の大半が地元企業への就職で、地元産業の担い手となってくれればと思います。また進学者は、県立産業技術短大をはじめ、大学・専門学校などに合格しています。

今後とも皆様のご発展をお祈り致しますとともに、更なるご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

無観客でのマイコンカーラリー大会

情報技術科の取り組み

本科では、生徒の興味関心を奮起させ、時代の流れに沿ったカリキュラム構成や実習内容の検討を行っております。生徒たちの積極性を育むべく、基礎的な学習や実習は勿論、教師側が最先端技術の情報をいち早く捉え、新しい課題を積極的に取り入れる努力をしています。

「魅力あふれる学校づくり推進事業」では、小学生を対象とした「プログラミング教室」を開催することができました。プログラミング学習やドローン制御の体験を通し、情報技術科で学ぶ内容の一部を知って頂けたのではと思っております。小学生の頃から情報分野に触れ、興味関心を持ち、将来産業技術の担い手となってくれることを期待しております。

コロナ渦で混沌とした学校生活でしたが、三年生は課題研究や進路活動に意欲的に取り組んでいます。残すところ数名が、結果発表を持っていたり、これからの試験に向けて準備をしているところです。また、山形大学の合格者も8年ぶりに出ています。

新しい活動として、シリコンバレー在住のスーパーエンジニアの方から定期的にリモート講義をして頂き、ものづくりやプレゼンテーションスキルを身に着ける一助となりました。この経験を通し、将来臆することなく、グローバルな視野を持って活躍することに繋げていって欲しいと願っています。

情報技術科では、新たな分野に挑戦しながら教育活動を行って参ります。同窓会の皆様には引き続きご支援を宜しくお願い申し上げます。

実習風景（シーケンス制御）

石山鉄工所
寒河江市大字寒河江字石田65
☎84－4161㈹

住み良い家造りを目ざす
大富建設株式会社
代表取締役会長　大泉富博（昭和43年）
〒990-0513　山形県寒河江市大字日和田886
TEL(0237)83-2061　FAX(0237)87-3256